

市政レポート 日本共産党一宮市議団の活動をお知らせします。 2021年 2月 No. 763

彦坂 和子 尾関 宗夫 渡邊 智史

発行：日本共産党一宮市委員会 TEL 45-5424 Fax 45-5347 一宮市八幡2-13-30

シヤツトル [発行] 日本共産党一宮市委員会 JCP一宮

「一宮市働く婦人の家」廃止 説明会を開いて！ 市長宛の申し入れ書と賛同署名 1,166 筆提出

2/5 提出したのは一宮市働く婦人の家の利用の存続を求める会。

一宮市働く婦人の家は、ききょう会館の3階～5階部分で1990年5月開館。様々な講座やサークル活動で年間延べ3万人以上が利用しています。昨年9月議会で「2021年3月末で廃止」が可決されました。(日本共産党だけ反対)利用者には何の説明もなく、いきなりの廃止で驚きと怒りが広がっています。



1/15 働く婦人の家館長から各団体長に「2022年3月までの1年間有償での貸館を実施します。料金は軽運動室の場合400円/30分など」との案内が届きましたが、利用者からは「料金がなくて困っている。利用できなくなる」との声が寄せられています。

<申し入れ項目>

- 1, 「一宮市働く婦人の家」の廃止について、利用者への説明会を開催してください。
- 2, 1年間は無償で利用できるようにしてください。
- 3, 利用できる公の施設と利用料金を一覧表にして利用者で紹介してください。

市広報2月号「尾西児童図書館3月31日で閉館」

先日市民から「【市広報2月号に尾西児童図書館3月31日(木)午後5時をもって閉館となります。】と書いてあり、TWで問題になっているよ。」と連絡いただきました。早速翌日現地を見てきました。1つの建物の中に(入口は同じ)1階は朝日東児童館、2階は尾西児童図書館でした。とても広くて素敵な図書館で、入り口には故市川房枝さんの紹介コーナーがありました。この児童図書館は故市川房江さんの遺産によって建設されたものです。

受付の方に閉館について聞いても「よくわからない」とのこと、尾西図書館へ行きました。職員は「理由は、児童館と図書館も開館日が年約60日違い建物のセキュリティで問題」と。後日教育文化部次長と図書館事務局長と懇談。次長は「12/14 経済教育委員会の報告資料に示しているが、4月からは児童館図書室となります。」と話しました。



尾西児童図書館の廃止及び朝日東児童館図書室へ移管について

現行

- *施設 一宮市立図書館の分館として児童館を併設した尾西児童図書館 (1階に児童館、2階に児童図書館)
- *開館日 児童図書館と児童館の開館日が不一致
 - ・図書館の開館日で児童館が休館の日が年間約60日、児童館の開館日で図書館が休館の日が年間約70日。2階または1階が無人の状態になり、防犯上の問題がある。
- *利用対象者 誰でも利用できる 本の貸出は貸出カードが必要
- *設置目的 児童が読書に親しめる環境を整備するため



移管後

- *施設 児童図書館の廃止後は児童館図書室として移管
- *開館日 児童館の開館日となる
 - ・図書室を利用できる日数が増加する。開館日不一致による無人の状態及び防犯上の問題が解消される
- *利用対象者 市内在住の児童(0~18歳)とその保護者に限定される。貸出カードは不要
- *設置目的 児童がより読書のしやすい環境となり、設置目的は継続される



森氏の女性蔑視発言は男女平等を否定するもの

森喜朗氏(東京五輪・パラリンピック組織委員会会長)の女性蔑視の発言について、国内外から批判と辞任を求める声が上がっています。

森氏の女性蔑視発言についての日本共産党の立場は裏面に掲載!

いま国際的に意思決定の場に女性の参加を増やす努力を積極的に行っている中、世界の中で日本は「男女平等度」で121位と大変遅れています。



一宮市の女性幹部登用状況は

- *市職員(全職種 事務・技能職、消防、保育士、医療他、労務) 2020,4,1 現在
 - 女性の役職者の人数・比率
 - 院長・副院長0人・0%、部長0人・0%、次長1人・3.0%、課長28人・14.4%、専任課長125人・37.5%

*教育現場

小学校(42校) 校長先生11人・26%、教頭先生11人・26% 計22人
中学校(19校) 校長先生1人・5.0%、教頭先生2人・10% 計3人



森氏の女性蔑視暴言 ジェンダー平等への低い感度

森喜朗氏の「女性がたくさん入っている会議は時間がかかる」という発言は、明確な女性差別、女性蔑視の発言です。「女性の発言時間を制限する必要がある」に至っては「女は黙っている」というに等しく、同氏の抜きがたい男尊女卑思想を表すとともに、民主主義の根幹にかかわる暴言です。

五輪憲章はあらゆる種類の差別を禁止し、男女平等の原則の完全実施をうたっています。これに真っ向から反する発言をした人物に、大会組織委員会会長を務める資格がないことは明白です。森氏は会長を辞任すべきです。

森氏は4日の「謝罪会見」で、「オリンピック・パラリンピック精神に反する不適切な発言であった」と述べ、「深い反省」と「撤回」を表明しましたが辞任は否定しました。居座りが許されると思っている時点で、自らの発言の何が問題だったのかを理解する力も、意図も、ないのだと言わざるを得ません。



努力に水差す

いま国際社会は、意思決定の場に女性の参加を増やす努力を積極的に行っています。日本は政治・経済の分野で指導的地位に女性が占める割合が極端に低く、ジェンダーギャップ指数で121位と世界の中でも圧倒的な後進国です。その遅れを取り戻そうとする努力に水を差し、嘲笑するような森氏の発言は、公人として許されるものではありません。

同時に、これは森氏個人の問題にとどまりません。報道によると、森氏のこの発言に対し、会場では笑いが起きたといえます。誰もその場でいさめる人がいなかったとすれば、日本オリンピック委員会自体の、五輪憲章の精神への理解が問われます。---

さらに、菅政権の態度も問われます。菅義偉首相は4日の衆院予算委員会で、「森会長が発言した内容の詳細については承知しておりません」と答弁し、「スポーツ分野においても女性の社会参画は大事」と一般論で逃げようとした。発言を読み上げられると「あつてはならない発言だ」と述べたものの、森氏に辞任を

求めるべきだとの指摘には答えませんでした。



日本の政治の遅れた姿が改めて世界にさらされました。同時にSNS上で「#森喜朗氏は引退してください」「#わきまえない女」などのハッシュタグをつけて、多くの女性、男性らが機敏に声をあげたところに社会の進歩も感じています。ジェンダー平等後進国を抜け出すために、さらに声をあげ、政治を変えなければとの決意を新たにしました。

(日本共産党ジェンダー平等委員会事務局長 坂井希) しんぶん赤旗 2021年2月5日

新型コロナ対策には、マスク・手洗い・政権交代！



1月から始まった緊急事態宣言。陽性確認者が減少してきたことから、解除して、GoTo事業も再開するなどの報道がされています。感染が少し収まった今こそ、無症状者も含めたPCR検査の拡充で、感染者を特定して保護していく必要があります。いのちや暮らしより経済を重視する政権を改めることが一番の新型コロナ対策になります。力を合わせていのちと暮らし第一の野党連合政権の樹立を、ご一緒にやりとげましょう。

まず生き残ろう！どんなことでもお気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、倒産件数が1,000件を超えるなど、暮らし全般でお困りの方が増えています。

影響が1年を超え、「第3波になって解雇された」という事例の相談もありました。

ほんのちょっとしたことでもお困りの際はご相談ください。

専用ページはこちらから→



私たちは暮らしのSOSに応えます。

尾西児童図書館について

2月広報に掲載された尾西児童図書館の廃止について。突然のことで驚きました。調べてみたところ、一宮市の驚くやり方が明らかになりました。

12月議会の議案117号で「一宮市図書館条例の一部改正」で、「第2条の見出しの中「分館」を削り、同条第1項を削り、同条第2項を同条とする」と提案され、「分館」を廃止しています。この「分館」というのが尾西児童図書館になります。

昨年9月26日に図書館協議会がありました。そこで尾西児童図書館の事は議題にありません。昨年度の協議会の議事録にも議題にありません。今シャトル表面で当局が問題にしている「無人の状態」や「防犯上の問題」なども協議会に出されることなく、本来図書館について検討する図書館協議会で全く議論されないまま『条例を削る』だけで、子ども・地域から図書館を取り上げられようとしています。許されないことです。

図書館と図書室は全く違います。図書館は社会教育法に基づく施設で、司書などの専門家が本を提供します。児童館には設備基準で図書室を設けることになっています。図書館の機能は図書室にはありません。図書室が残るから影響がないかのような姿勢は問題です。